

読者からのメッセージ・その3

新世紀にふさわしい 「労働組合としての役割」 の創造を

衆議院議員

赤羽 一 嘉



日本の経済状況の激変の中で、自ら「労働組合の役割とは何か」と問いかけながら、21世紀の社会の重要課題である環境問題とボランティアを二大テーマとしながら、「ユニオン・オープンハウス」を開催されてこられたパンテックユニオンの皆様方のご努力に、読者の一人として深く敬意を表する次第でございます。21世紀の産業・国土交通・農業等々の政策の立案において、環境保護を無視したものは成り立ちません。言い換えれば、循環型社会の形成は不可避であります。この環境問題は地球規模の広がりをもちますが、その解決には、一人ひとりのライフスタイルのあり様がキーポイントとなります。その観点から、私は、第1回オープンハウスでのテーマであった「地球環境保護は『一人立つ精神で』」に全く同感であります。また、この講演をきっかけとして取り組まれたモンゴルのマンホールチルドレンへの支援物資の送付や里親制度への支援のボランティア活動は、私たちと同時代に生きていながら、不幸を背負う異国の子供を助けようとする尊い活動であり、中国・モンゴルとの交流を進めている立場の一人として、心からの賞賛をしたいと存じ上げます。末筆ではありますが、パンテックユニオンの皆様方が、一連の活動を進められる中で、新世紀にふさわしい労働組合の役割を創造されますことをご祈念申し上げ、筆をおくことといたします。



「不易」と「流行」を峻別し ダイナミックな改革を

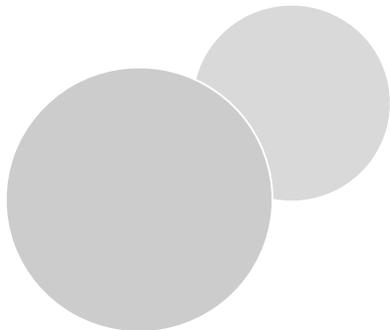
兵庫県市立高等学校校長会 会長
(神戸市立御影工業高等学校長)
奥田直文



「オープンハウス要録集総集編Vol.2」の発刊おめでとうございます。ユニオン・オープンハウスの冊子を毎回お送りいただき、その質の高さと内容の豊富さに感心させられ、楽しみながら読ませていただいております。私自身は、特にモンゴルとの交流をはじめ、海外視察報告に興味があります。また、環境ビジネスに軸足を置いた企業で働いておられる方々が、足下の環境問題から、地球規模の環境問題まで、生活者の視点で「環境問題」を見つめ、自らの業務に対する意識を高められていることには敬意を表します。さて、私どもが働く高等学校を取り巻く環境は急変しています。中学卒業生の減少（少子化）や多様な生徒の教育ニーズに応えるため、全国的にも、また兵庫県においても、高校教育改革が急速に進められています。次々と新しいタイプの高校の創設や学校・学科改編が行われており、入試制度も大きく変わろうとしています。神戸第三学区においては複数志願選抜・特色選抜が来年度入学者選抜に導入されます。また、本年4月より完全学校週5日制がはじまり、平成15年4月からは高校においても新学習指導要領に基づいた教育活動が展開されます。新しい世紀の始まりと同時に、私たちを取り巻く情勢は、大きく変化しています。初めて経験するデフレ、5%をこえた完全失業率と厳しい雇用環境、崩れ去ろうとしている終身雇用と年功序列。このような時代だからこそ制度疲労を起こしているものは改革するのは当然のことではありますが、「不易」と「流行」の峻別も大切なことと考えます。この意味からもパンテックユニオンのオープンハウスの取り組みに大きな期待を抱いており、ますますのご活動と躍進を願っております。最後になりましたが、平成16年4月より神鋼パンテック本社の隣に神戸市立の新しい工業高校が創設されます。隣人として宣しくお付き合いをお願いいたします。



呼吸する組織は青々として



童話作家

脇谷 みどり



パンテックユニオン、オープンハウスの活動誌20号の発行おめでとうございます。私は部外者ながら、毎回、精力的に新しい場面を開拓し、講師も含めて人のつながりを広げていくパンテックユニオンさんの紙面に、強い関心を寄せている一人です。私たちは、自分の心が決まれば大抵の場所に行けるわけですが、それは、個人の好みに基づいていたり、自分の知っている世界に限られます。そこに属することによって、自分の関心のない新しい世界を見聞できたり、直接触れるチャンスに恵まれることは、それだけで、自分の心の宇宙を大きくすることだと感じています。大袈裟なようですが、それは、有形無形に仕事の中にも反映するものと思っています。長い文章の中の一文字を書くための体験とでも言いましょうか、一文字だけれど、体験しなければ絶対書けない人生の言葉。その価値に気付くのはずっとずっと後のことかもしれないのですが…。それと、いつも嬉しく感心していますのはご家族である奥様方むけの企画が心憎い割合で入っていることです。「忘れていませんよ、大切な人生のパートナーであるあなたも」といつくれているような心遣いに、きっと奥様方も嬉しい気持ちになっているだろうなと感じています。どうぞこれからも大胆で細心な発想で益々ご努力くださいますよう期待し、応援しております。

